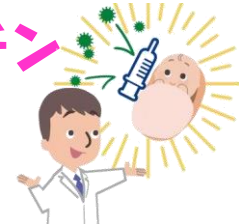




こあら通信

小栗小児科医院 2024年4月 208号
〒933-0014 富山県高岡市野村869
TEL: 0766-23-2229
URL: <http://oguri-shounika.com>

2024年4月からの新しい2種類のワクチン



肺炎球菌ワクチン

2013年に13価小児肺炎球菌ワクチン(PCV13)が定期接種に導入されました。導入されたことにより、小児の肺炎球菌性髄膜炎の患者数は、大幅に減少しました。2024年4月から、肺炎球菌ワクチンが、PCV13から15価小児肺炎球菌(PCV15)に変更になります。

PCV15 (バクニュバンス) は、PCV13 (プレバナー13) に含まれていなかった血清型の22Fと33Fが追加されています。

侵襲性肺炎球菌感染症 (IPD) とは

髄液や血液など、細菌がないはずのところに肺炎球菌が存在する感染症を侵襲性 (しんしゅうせい) 肺炎球菌感染症 (IPD) と呼びます。

PCV13とPCV15は、互換性(他と互いに交換できる性質)があります。

今まで、PCV13を受けておられた方も、途中から、PCV15に切り替えます。

PCV15を1回でも受けておけば、新しく含まれた血清型の22Fと33Fの効果も得られます。

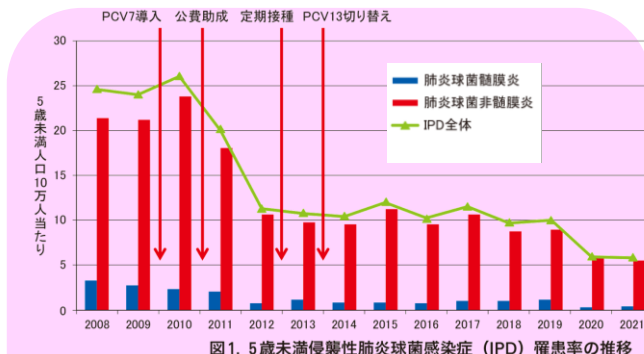


図1. 5歳未満侵襲性肺炎球菌感染症 (IPD) 罹患率の推移
NIID 国立感染症研究所H.Pより引用

公費助成前の2008~2010年と2020年の罹患率を比較すると、IPD全体では77.5%減少しました。IPDのなかでも髄膜炎は90.0%減少していました。

ワクチンには侵襲性の高い血清型の抗原が多く含まれています。

ワクチンの効果で、侵襲性の高いIPDは減少しています。

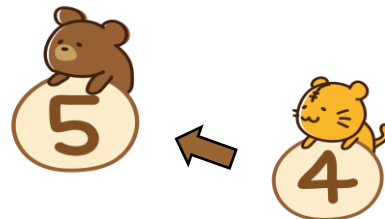
5種混合ワクチン

5種混合ワクチンは、従来の4種混合ワクチンにヒブワクチンが追加されたものです。予防効果は、どちらも変わりはありません。

今までは、生後2か月から、4種混合、ヒブ、肺炎球菌、B型肝炎、ロタワクチンの5本ワクチンを接種していましたが、2024年4月からは、5種混合、肺炎球菌、B型肝炎、ロタワクチンの4本になります。

4種混合ワクチンと5種混合ワクチンの互換性はないため、現在、4種混合とヒブを接種しておられる方は、そのまま引き続き4種混合とヒブワクチンを接種してください。

2024年4月から初めてワクチン接種を開始される方は、5種混合ワクチンとなります。



	メリット	有害事象
PCV15	22Fと33F追加 IPD罹患率減少が予測 筋肉注射が可能	PCV13と比較し非劣性
5種混合	ワクチン本数が2本(ヒブ+4種)→1本(5種) 赤ちゃんの負担が軽減 筋肉注射が可能	他の不活化ワクチンと比べ非劣性

休診
22日(月)
14:00~15:00

担当: S.M